

2章 標準歩掛り

1節 機械設備工事費の計上方法

(7) 水道用ダクタイル鋳鉄管

水道用ダクタイル鋳鉄管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.7 に定める通りとする。

表2.1.7

費用項目	計上方法	備考
1) 管	設計数量 × 材料単価	
2) 異形管	設計数量 × 材料単価	
3) 管支持金物	—	
4) 接合材等 (管)	管材料費* ¹ × 乗率	*1: 1) 設計数量 × 材料単価
接合材等 (異形管)	異形管材料費* ² × 乗率	*2: 2) 設計数量 × 材料単価
5) 労務 (管)	労務数量* ³ × 労務単価	*3: 1) 設計数量 × 労務歩掛り
労務 (異形管)	労務数量* ⁴ × 労務単価	*4: 2) 設計数量 × 労務歩掛り
6) その他	労務費 × 乗率	

(注) 「その他」の乗率については表 1.3.1 (「その他」の率) を参照

(8) 高密度ポリエチレン管

高密度ポリエチレン管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.8 に定める通りとする。

表2.1.8

費用項目	計上方法	備考
1) 管	所要数量* ¹ × 材料単価	*1: 設計数量 × (1 + 割増率)
2) 継手	設計数量 × 材料単価	
3) 管支持金物	管材料費* ² × 乗率	*2: 1) の設計数量 × 材料単価
4) 接合材等 (管)	管材料費* ² × 乗率	
5) 労務	労務数量* ³ × 労務単価	*3: 1) の設計数量 × 労務歩掛り
6) その他	労務費 × 乗率	

(注) 「その他」の乗率については表 1.3.1 (「その他」の率) を参照

(9) 水道配水用ポリエチレン管、水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管

水道配水用ポリエチレン管、水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.9 に定める通りとする。

表2.1.9

費用項目	計上方法	備考
1) 管	所要数量* ¹ × 材料単価	*1: 設計数量 × (1 + 割増率)
2) 継手	設計数量 × 材料単価	
3) 管支持金物	—	
4) 接合材等 (管)	管材料費* ² × 乗率	*2: 1) の設計数量 × 材料単価
接合材等 (継手)	継手材料費* ³ × 乗率	*3: 2) 設計数量 × 材料単価
5) 労務 (管)	労務数量* ⁴ × 労務単価	*4: 1) の設計数量 × 労務歩掛り

6) 労務(継手)その他	労務数量*5×労務単価 労務費×乗率	*5:2)設計数量×労務歩掛り
--------------	-----------------------	-----------------

(注)「その他」の乗率については表 1.3.1 (「その他」の率)を参照

(10) 水道用ポリエチレン二層管

水道用ポリエチレン二層管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.10 に定める通りとする。

表2.1.10

費用項目	計上方法	備考
1) 管	所要数量*1×材料単価	*1:設計数量×(1+割増率)
2) 継手	設計数量×材料単価	
3) 管支持金物	—	
4) 接合材等(管)	管材料費*2×乗率	*2:1)の設計数量×材料単価
5) 労務	労務数量*3×労務単価	*3:1)の設計数量×労務歩掛り
6) その他	労務費×乗率	

(注)「その他」の乗率については表 1.3.1 (「その他」の率)を参照

(11) さや管ヘッダー工法

さや管ヘッダー工法の樹脂管(架橋ポリエチレン管、ポリブテン管)、さや管及び器具類に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.11 に定める通りとする。

表2.1.11

費用項目	計上方法	備考
1) 樹脂管	所要数量*1×材料単価	*1:設計数量×(1+割増率)
2) メカニカル継手 (ヘッダー回り、水栓回り)	設計数量×材料単価	
3) 雑材料	管材料費*2×乗率	*2:1)の設計数量×材料単価
4) さや管	所要数量*3×材料単価	*3:設計数量×(1+割増率)
5) 管支持金物	さや管材料費*4×乗率	*4:4)の設計数量×材料単価
6) 接合材等	さや管材料費*4×乗率	
7) 防火区画貫通継手	設計数量×材料単価	
8) ヘッダー	設計数量×材料単価	
9) 水栓ジョイントボックス 立型水栓ジョイント	設計数量×材料単価	
10) シーリングキャップ	設計数量×材料単価	
11) 労務	労務数量*5×労務単価	*5:1),4),8)の設計数量
12) その他	労務費×乗率	×労務歩掛り

(注) 1 「その他」の乗率については表 1.3.1 (「その他」の率)を参照

2 樹脂管とさや管の同時施工を行う場合においては、樹脂管の労務歩掛りの計上は行わない。

2 排水・通気設備工事

(3) 鋼管（排水鋼管用可とう継手）、排水用耐火二層管

配管用炭素鋼鋼管（白）、排水用ノンターレエポキシ塗装鋼管、排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管、排水用耐火二層管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.14 に定める通りとする。

表2.1.14

費用項目	計上方法	備考
1) 管	所要数量 ^{*1} ×材料単価	*1：設計数量×（1+割増率）
2) 継手	設計数量 ×材料単価	
3) 管支持金物（管）	管材料費 ^{*2} ×乗率	*2：1)の設計数量×材料単価
4) 接合材等（管）	管材料費 ^{*2} ×乗率	
5) 労務	労務数量 ^{*3} ×労務単価	*3：1)の設計数量×労務歩掛り
6) その他	労務費 ×乗率	

（注）「その他」の乗率については表 1.3.1（「その他」の率）を参照

(4) 鋳鉄管（差込形 RJ 管）

鋳鉄管に関する配管工事費の計上方法は、表 2.1.15 に定める通りとする。

表2.1.15

費用項目	計上方法	備考
1) 管	設計数量 ×材料単価	
2) 異形管	設計数量 ×材料単価	
3) 管支持金物（管）	管材料費 ^{*1} ×乗率	*1：1)設計数量×材料単価
管支持金物（異形管）	管材料費 ^{*2} ×乗率	*2：2)設計数量×材料単価
4) 接合材等（管）	管材料費 ^{*1} ×乗率	
接合材等（異形管）	管材料費 ^{*2} ×乗率	
5) 労務（管）	労務数量 ^{*3} ×労務単価	*3：1)設計数量×労務歩掛り
労務（異形管）	労務数量 ^{*4} ×労務単価	*4：2)設計数量×労務歩掛り
6) その他	労務費 ×乗率	

（注）「その他」の乗率については表 1.3.1（「その他」の率）を参照